

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しあわせ駅早良				公表日	令和 7年 12月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		コーナーガードの設置を行った。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		系列事業所から応援に来ていただいているものの、下校時間が重なりと見守りが手薄になることがある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		来所後のスケジュールや、声のもののさを掲示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室や事務室を活用しながら、宿題支援、相談支援を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		普段から職員間で意見交換を行い、児童の情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1～2回、職員が揃う時に会議の機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画のテーマをもとに事業所内研修を行っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		半年に1回のペースでアンケートと面談を組み合わせて、各場面で状況把握を行い計画に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントシートを活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		様々な意見を持ち寄って全体で話し合っって計画、実施を行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		様々な意見を持ち寄って全体で話し合っ て計画、実施を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせて放課後 等デイサービス計画を作成し、支援 が行われているか。	○		児童、保護者のニーズに寄り添った計 画、支援をこころがけている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せ を行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チ ームで連携して支援を行っている か。	○			長期休暇になると、早出、遅出のす れ違いがあり打ち合わせができてい ないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合 せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共 有しているか。	○		送迎終了後にその日の気になること や保護者からの連絡等について情報 共有を行っている。	長期休暇になると、早出、遅出のす れ違いがあり打ち合わせができてい ないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につな げているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課 後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行 っているか。	○		職員全体で話し合うことで、出来て いることや課題の把握を行うように している。	
	24	放課後等デイサービスガイドライン の「4つの基本活動」を複数組み合 わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援 の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っ ているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担 当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者 が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医 療機関等）、障害福祉、保育、教育 等の関係機関と連携して支援を行 う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事 予定等の交換、こどもの下校時刻の 確認等）、連絡調整（送迎時の対応 、トラブル発生時の連絡）を適切に 行っているか。	○		担任教諭と対面での受け渡しをこ ころがけている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚 園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理 解に努めているか。		○	児童発達支援事業所からの紹介で 見学に来られる方が増えた。	情報共有までには至っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス から障害福祉サービス事業所等へ 移行する場合、それまでの支援内容 等の情報を提供する等しているか。		○		情報提供の機会がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連 携を図り、必要等に応じてスーパー バイズや助言や研修を受ける機会を 設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流 や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参 加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝 え合い、こどもの発達状況や課題に ついて共通理解を持っているか。	○		連絡帳、LINE、電話、送迎時の対 面などを通して情報共有を行って いる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から 、家族に対して家族支援プログラム （ペアレント・トレーニング等）や家 族等の参加できる研修の機会や情報 提供等を行っているか。	○		法人主催のペアレント研修について 案内を行い、職員も参加するように している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者 負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成す る際には、こどもや保護者の意思の 尊重、こどもの最善の利益の優先考 慮の観点を踏まえて、こどもや家 族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示 しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計 画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		利用人数が増えたため、休日の開催が難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年度の始めに服薬情報の確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		対象児童がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			